デジタルビデオカメラ

型名 GR-D851

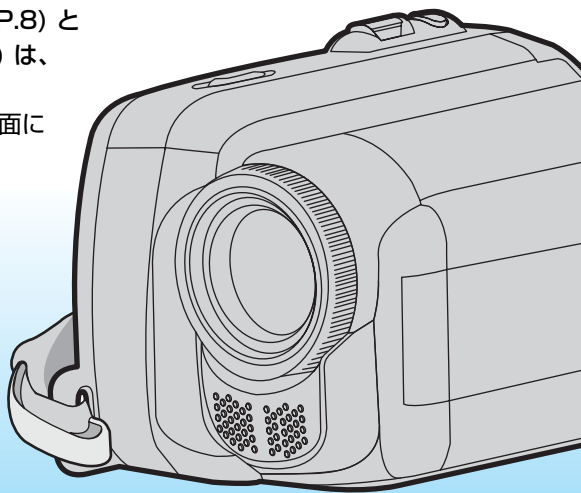
取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(P.8) と「使用上のご注意」(P.10) は、必ずお読みください。
[本機の製造年は、本体背面に表示されています。]

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page 25.
(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.25 をご覧ください。)

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

かんたん撮影ガイド

撮影まえに充電しましょう

1 「切」にする

録画　切　再生

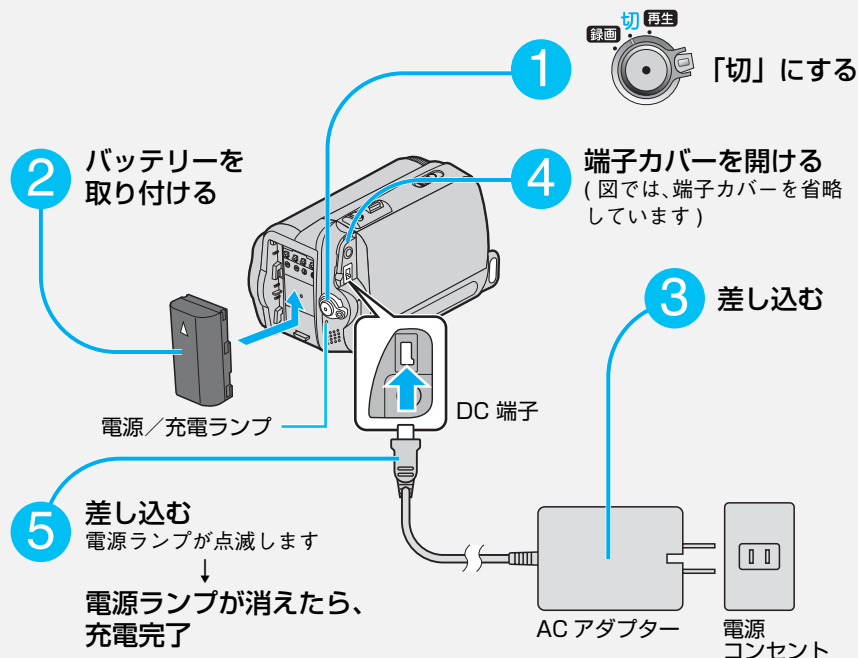
2 バッテリーを取り付ける

3 差し込む

4 端子カバーを開ける
(図では、端子カバーを省略しています)

5 差し込む
電源ランプが点滅します
↓
電源ランプが消えたら、充電完了

電源／充電ランプ

DC 端子

AC アダプター

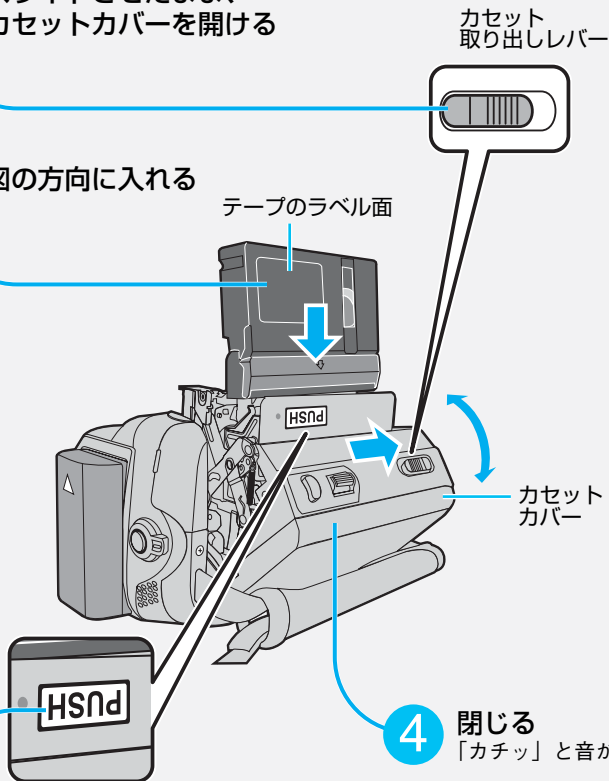
電源コンセント

■充電が終わったら
AC アダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

・バッテリーは充電されていません。
まずは充電してからお使いください。

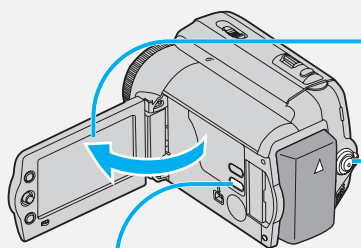
・必ずビクター製のバッテリーをお使いください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

テープを入れましょう

ミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

■テープをとり出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

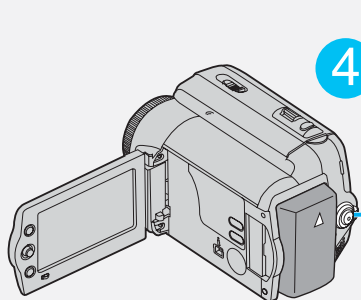
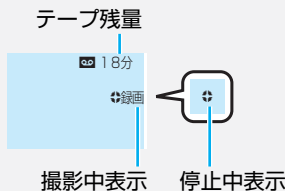
撮影しよう！

大切な撮影をするまえに、試し撮りをすることをお勧めします。

まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。
すべてオートで設定され、面倒な操作は必要ありません。

1 液晶画面を開く

2 電源スイッチを「録画」にあわせる

押したまま回して、マークにあわせる

3 オートボタンを何度か押し、A を表示させる
押す度に、オートとマニュアルに切り替わります

4 撮影ボタンを押して撮影する
撮影が始まります
もう一度押すと停止します

■日付を設定するには➡（P.23）

再生しよう！

1 電源スイッチを「再生」にあわせる

押したまま回して、マークにあわせる

2 レバーを ◀ に動かす

巻戻します

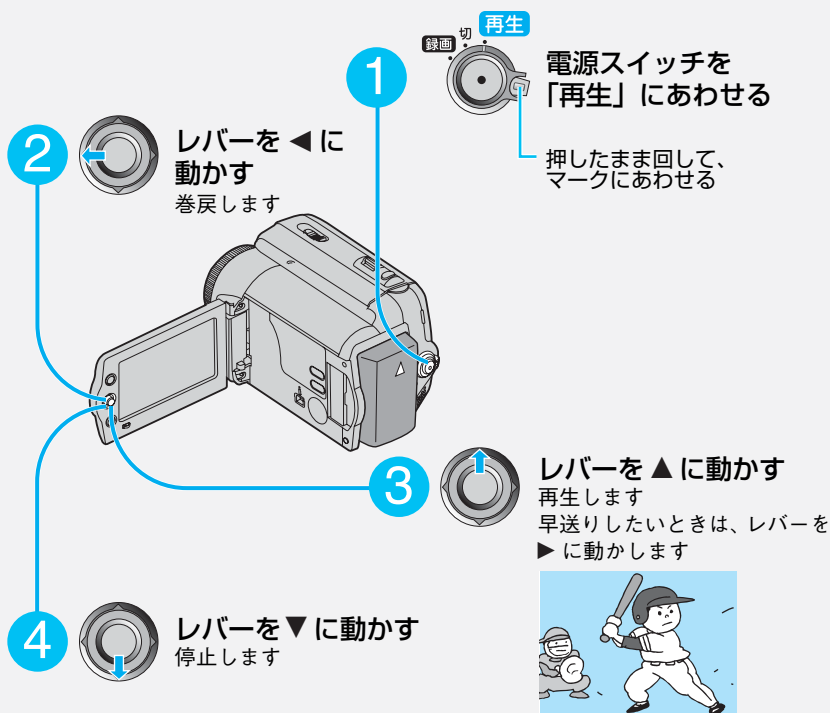
3 レバーを ▲ に動かす

再生します

早送りしたいときは、レバーを ▶ に動かします

4 レバーを▼ に動かす

停止します

■テレビで見るには➡(P.33)

ご使用のまえにビデオヘッドクリーニングをお勧めします。

ビデオヘッドが汚れていると、正常な記録や再生ができなくなります。➡(P.58)

ビデオヘッドが汚れているときの画面

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集する

設定する

困ったときは

その他

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと　　禁止されていること　　実行して欲しいこと

一般的注意

感電注意

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

一般的指示

警告「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- ●プラス（+）とマイナス（−）のまちがい
- ●金属物（ネックレス、ヘアピンなどといっしょに携帯・保管する
- ●分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- ●高温（60℃以上）になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
　万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属の AC アダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

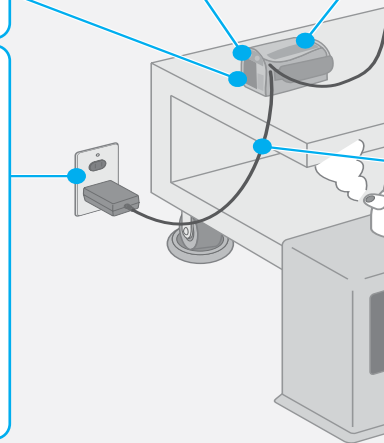
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

内部に物を入れない
・テープの出し入れ口などから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない
・内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

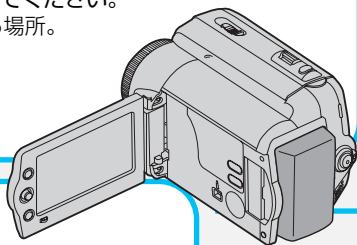
撮影について

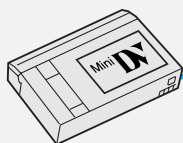
- **大切な記録のまえには、必ず試し撮りをしてください。**
  撮ったところを再生して、画面と音が記録されていることを確認してください。
- **大切な記録は SP(標準) モードをお使いください。**
  LP(長時間) モードでは SP モードの 1.5 倍記録できますが、テープの特性や使用環境に影響され、再生時にモザイク状のノイズが発生する場合があります。大切な撮影には SP モードのご利用をお勧めします。

このビデオカメラについて

- **DV 方式です。ほかの方式や従来式のビデオとは互換性がありません。**
- **ご使用のまえにビデオヘッドクリーニングをお勧めします。**
  ビデオヘッドが汚れていると、正常な記録や再生ができなくなります。

ビデオヘッドが汚れているときの画面

- **ビデオカメラを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。**
  高温になると、内部の電池が破裂することがあります。
- **長期間使わない場合は、テープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
  ときどき電源を入れて、動作を点検してください。
- **ビデオカメラは、バッグなどに入れて保管してください。**
- **ビデオカメラは、次のような場所に置かないでください。**
  - 晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
  - 直射日光が当たる場所。
  - ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所。

液晶画面について

- **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
  傷がついたり、割れたりする場合があります。
- **小さく光る点 (赤・青・緑) や黒い点は故障ではありません。テープには記録されません。**

テープについて

● 次のマークがあるものを使ってください。 Mini DV

● 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。

● テープを保管するときはカセットケースに入れ、湿気のない場所に保管してください。

※ 不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。

著作権について

● 録画・録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

バッテリー（充電式電池）について

● バッテリーは必ずビクター製をお使いください。ビクター製以外では正常に動作しません。

● ご購入時はバッテリーは充電されていません。充電してお使いください。

● 低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意ください。

● 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

● 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
1)テープを入れずに、電源スイッチを「録画」にあわせる。
2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。

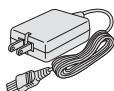
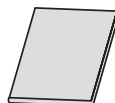
● バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずして保管してください。

● 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付け、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところに保管してください。

● バッテリーを処分する際は、P.67 をご覧ください。

はじめにお確かめください

付属品

万が一、不足品がございましたら、お買い上げ店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

別売アクセサリー

詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
バッテリーチャージャー	AA-VF8
DC コード	VC-VBN800

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 ご注意 ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です (P.33)。

- ■アメリカ合衆国
- ■韓国
- ■コスタリカ
- ■トリニダード・トバコ
- ■バハマ
- ■フィリピン
- ■ペルー
- ■ミクロネシア
- ■エクアドル
- ■キューバ
- ■コロンビア
- ■ドミニカ
- ■バミューダ
- ■プエルトリコ
- ■ホンジュラス
- ■ミャンマー
- ■エルサルバドル
- ■グァテマラ
- ■スリナム
- ■ニカラグア
- ■バルバドス
- ■米領サモア
- ■ボリビア
- ■チリ
- ■カナダ
- ■グアム
- ■台湾
- ■ハイチ
- ■パナマ
- ■ベネズエラ
- ■メキシコ

各部のなまえ

ズーム (P.32) ／音量レバー

T	撮影時：大きく撮る 再生時：音量大
W	撮影時：広く撮る 再生時：音量小

液晶画面 (P.17 、27)
撮影中、再生中に映像が映る。
また、メニューが表示される。

静止画ボタン

DATA ボタン (P.21)

AUTO ボタン (P.27 、36)

16:9(P.28) / ブランクボタン (P.31)

DV 端子 (i.LINK)(P.42 、44)

メニュー (MENU) ボタン (P.45)

上 (▶/II 再生・一時停止／フォーカス (P.37))

決定レバー

右 (▶▶ 早送り)

下 (■停止／逆光補正 (P.38))

左 (◀◀ 巻戻し／クイックレビュー (P.29))

フォーカス

クイックレビュー

DC 端子 (P.20)
AV 端子 (P.33 、40)
端子カバー
電源スイッチ (P.26)
再生 : 再生や編集するとき
録画 : 撮影するとき
切 : 電源を切るとき
カセット取り出しレバー (P.22)
AV
PC
撮影ボタン
パッド
グリップベルト (P.18)
スピーカー
電源ランプ (P.20)
バッテリー取りはずしボタン (P.19)
三脚取り付け穴
JIS B 7103 1/4 規格の三脚をお使いください。
バッテリー取り付け部 (P.19)
製造年表示

画面の見かた

撮影時の画面

バッテリー残量
(P.66)
多い
少ない

ズーム
(P.32)

明るさ補正
(P.38 、39)
逆光補正
スポット補正
数字 明るさ補正

撮影モード
(P.27 、36)
A オート撮影
M マニュアル撮影

35×
+2
明るさ固定
(P.39)

感度アップ
(P.51)
/ ナイトアイ
(P.48)

1/4000

日時
(P.23 、53)
AM ：午前
PM ：午後

PM 2:00
2007.12. 1

マニュアルフォーカス (P.37)

シャッター速度
(P.49)

ズーム倍率 (P.32)

白バランス
(P.48)

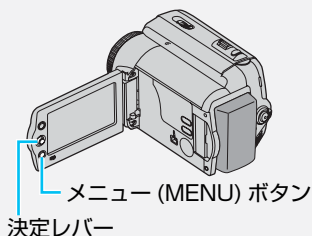
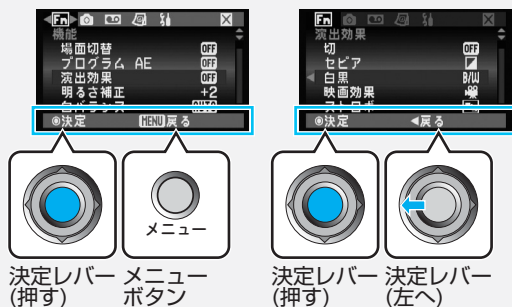
プログラム AE(P.48)

演出効果 (P.48)

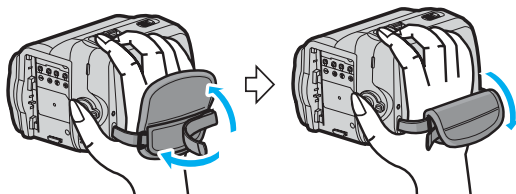
再生時の画面

■日付などの表示を消すには
メニューで次のように設定する (P.53)。
・画面表示切替 :「切」または「モニター」
・日時表示 :「切」
・タイムコード :「切」

■メニュー表示中など、画面に操作のヒント (ガイド) が表示されます

決定レバー (押す)　メニューボタン　決定レバー (押す)　決定レバー (左へ)

付属品を取り付ける

グリップベルトを調節する

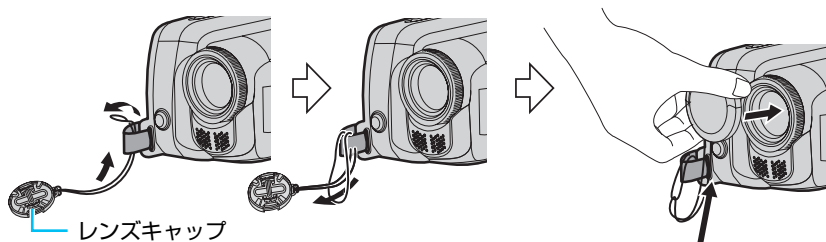
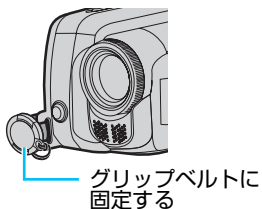
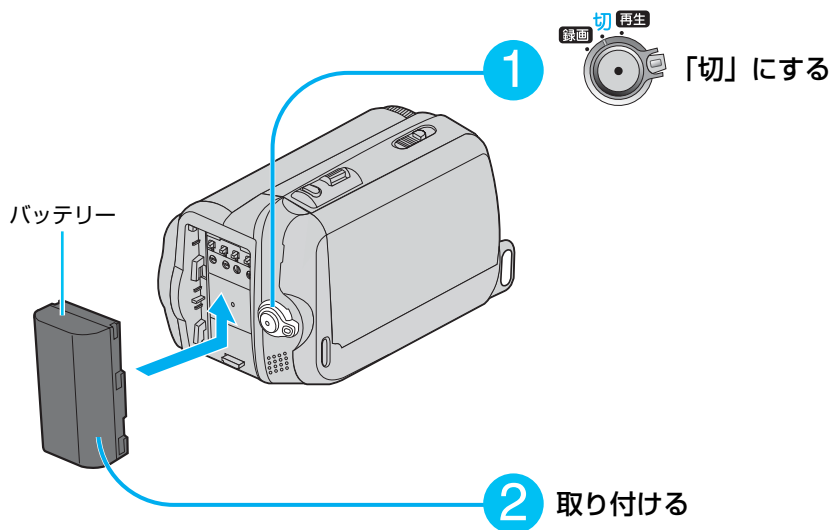
軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

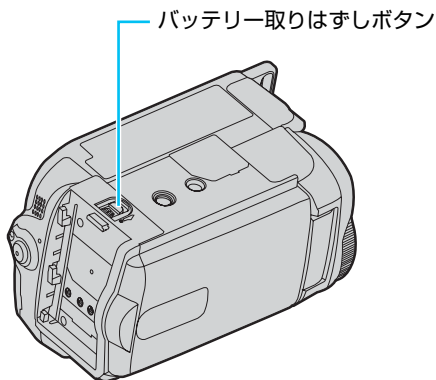
バッテリーを取り付ける

録画 切 再生

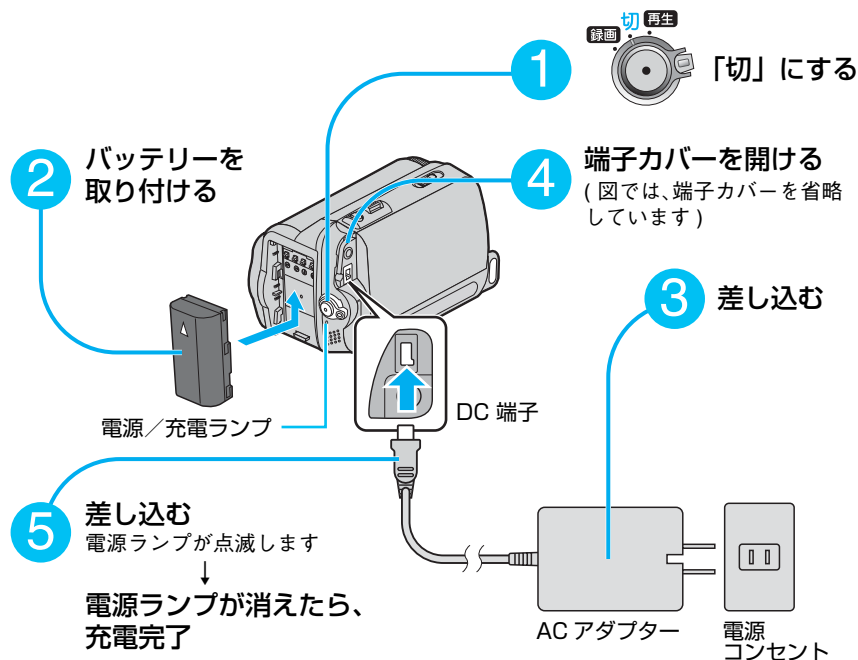
1 「切」にする

バッテリー

2 取り付ける

■バッテリーを取りはずすには

手順 1 のあと、底面のバッテリー取りはずしボタンをスライドさせたまま取りはずす。

準備する 2 バッテリーを充電する

AC アダプターを取り付ける

AC アダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

■充電が終わったら

AC アダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

■自宅で使うときなどは

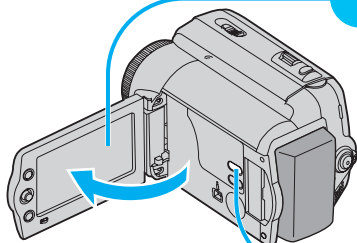
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

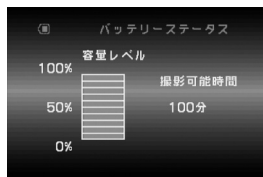
■充電時間の目安

「充電時間の目安」(P.65)

バッテリー残量を調べる

準備 ●AC アダプターを取りはずす

1 液晶画面を開く

2 DATA **押す**
下の画面が表示されます
電源スイッチ「切」の場合、約 5 秒後に消えます

3   **押す**
表示が消えます

■通信エラーと表示されたときは

- DATA ボタンを何度か押してみる。
- 電源 (バッテリー) を取りはずし、再び取り付け、DATA ボタンを押してみる。

それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

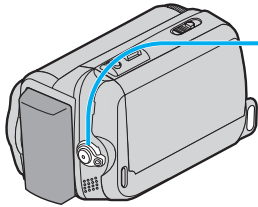
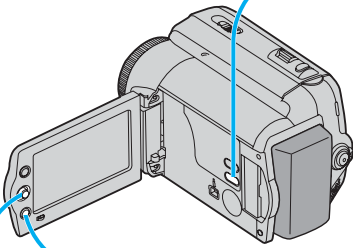
■より正しいバッテリー残量を得るには

バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。
ただし、高温 / 低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

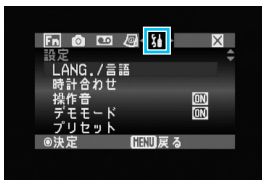
お知らせ
●撮影可能時間は目安です。5 分単位で表示されます。
●電源スイッチ「切」の場合、手順 2 で DATA ボタンを約 2 秒間押し続けると、バッテリーステータスが約 15 秒間表示されます。

準備する 3 テープを入れる

ミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

準 備
- ●バッテリーを取り付ける (P.19)
- ●AC アダプターで充電する (P.20)

■テープを取り出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

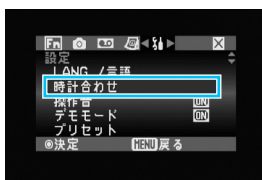
準備する 4 時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

1 「録画」にする

2 「Ⓜ MANUAL」が表示されるまで、繰り返し押す

Ⓜ MANUAL

数秒後、画面左上に Ⓜ が表示されます

3 押す
メニューが表示されます

4 レバーを ◀ ▶ に動かして「(設定)」を選ぶ

5 「時計合わせ」を ▲ ▼ で選び、

押して決定する
年月日の表示順序が反転します

「年．月．日」を ▲ ▼ で選び、

押して決定する

・ 好みに応じて、「月．日．年」や「日．月．年」を選ぶこともできます

時刻の表示方法が反転します

「24h」または「12h」を ▲ ▼ で選び、

押して決定する

西暦が反転します

西暦を正しく設定し、

押して決定する

月日と時刻を順に同様に設定し、

押して決定する

・ 手順 7 で「12h」を選んだときは、午前／午後 (AM ／ PM) も設定する

手順 5 の画面に戻ります

押す

メニューが消えます

■ 1 つまえの操作に戻るには

手順 6 ～ 9 では、決定レバーを ◀ に動かす。

時計用電池について

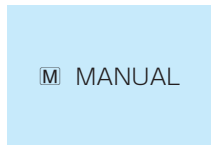
時刻を設定しても「日時を設定して下さい」と表示され続けるときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口へご連絡ください。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English.

1 Set the POWER switch to "録画" while pressing down the LOCK button located on the switch.

2 Press AUTO button.
until "M MANUAL" is displayed on the screen.

M MANUAL

After a few seconds, M icon is displayed on the left of the screen.

3 Press MENU button.

4 Move SET lever right or left to select "🔧"

5 Move SET lever up or down to select "LANG" and press SET lever.

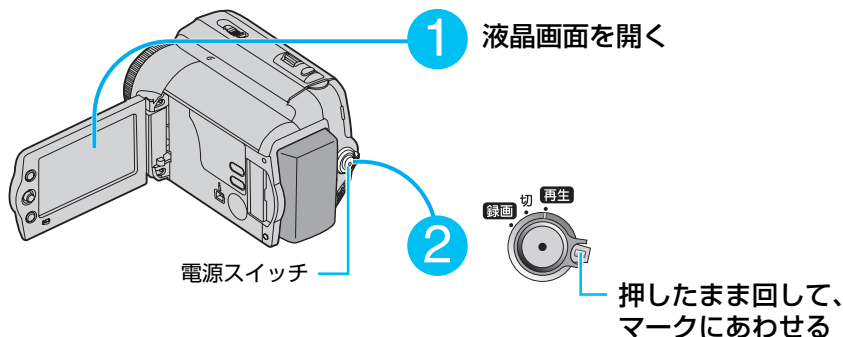
6 Move SET lever up or down to select "ENGLISH" and press SET lever.
The Menu indication changes to ENGLISH.

7 Press MENU button.
The Menu screen closes.

すぐ使う 1

撮影・再生の基本操作

撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準 備 として省略する場合があります。

電源を入れる 電源スイッチ

■撮影するとき
「録画」にあわせる。

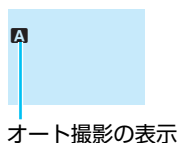
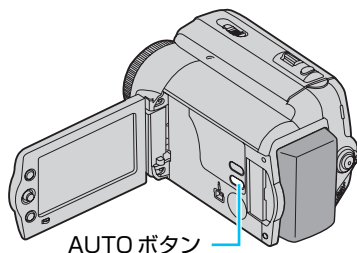
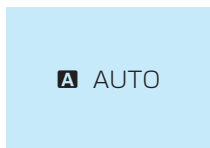
■再生や編集するとき
「再生」にあわせる。

■電源を切るには
「切」にあわせる。

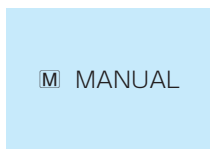
お知らせ
- 電源スイッチが「録画」のときは、液晶画面の開閉で電源の入／切ができます (クイックパワーオフ)。
- 節電とテープ保護のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。操作を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。

簡単に撮影する AUTO ボタン

全自動で撮影したいときは、オート撮影にします。画面左上に 🅰 が表示されていることを確認してください。

オート撮影の表示

■表示が異なるときは
「🅰 AUTO」が表示されるまで、AUTO ボタンを繰り返し押す。数秒後、画面左上に 🅰 が表示される。

AUTO ボタン

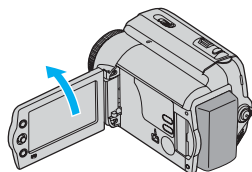
■マニュアル撮影するときは
「Ⓜ MANUAL」が表示されるまで、AUTO ボタンを繰り返し押す。数秒後、画面左上に Ⓜ が表示される。

Ⓜ MANUAL

撮影に失敗しないためには

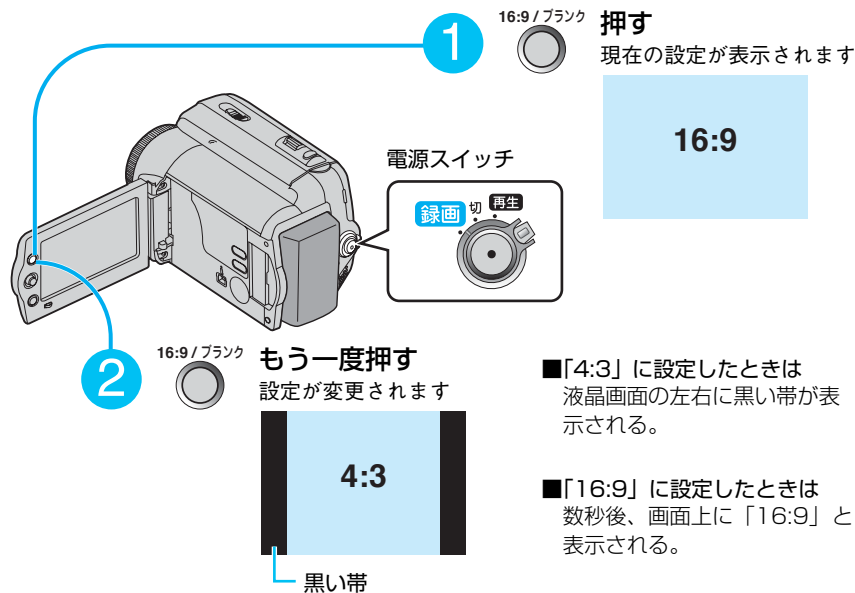
撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。
撮影のまえに試し撮りをして再生し、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください (P.58)。

自分を撮るには

液晶画面を開いたあと、
図の方向へ 180 度回します。
元に戻すときは、逆の方向へ回します。

すぐ使う 2 ムービーを撮る

ムービーの画面比を選ぶ 16:9

撮影するムービーをワイドテレビ (画面比 16:9) 用にするか、標準テレビ (画面比 4:3) 用にするかを選択します。お買い上げ時は「16:9」に設定されています。

準 備 ●電源スイッチ：「録画」

■「4:3」に設定したときは
液晶画面の左右に黒い帯が表示される。

■「16:9」に設定したときは
数秒後、画面上に「16:9」と表示される。

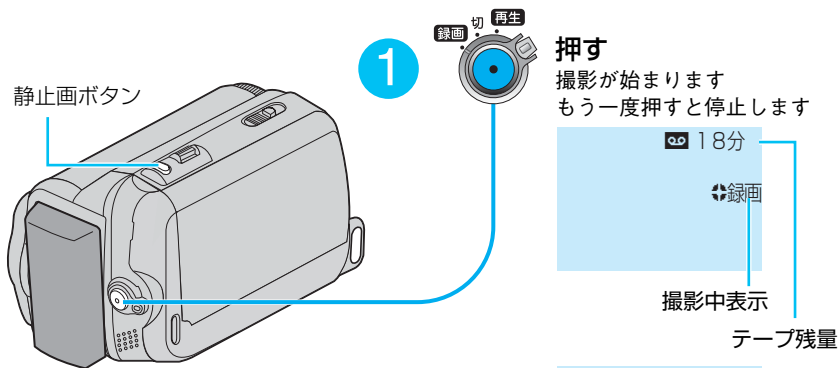
■設定を変更しないときは
手順 2 を行わない。

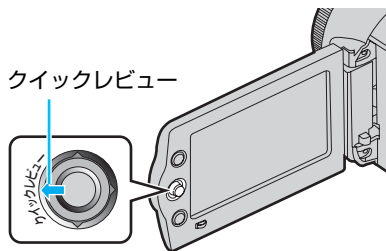
■撮影したムービーをテレビで見るときは
「テレビで見る」(P.33)

お知らせ ●「16:9」に設定して撮影したムービーをパソコンで再生するには、ワイド表示に対応したソフトウェアが必要です。

撮影する

準 備 ●電源スイッチ ：「録画」

押す
撮影が始まります
もう一度押すと停止します

■続きから撮るには
ブランクサーチする (P.31)。

■撮影のまえに直前のムービーを確かめるには
決定レバーを ◀(クイックレビュー) に動かす。数秒分のテープが巻戻って再生され、再生が終わると元の状態に戻る。

■静止画効果を入れるには (記念写真)
ムービーの撮影中または停止中に、静止画ボタンを押す。
押した瞬間の画像が、約 6 秒間、制止したまま録画される。

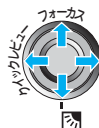
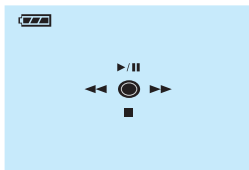
お知らせ ●テープ残量が表示されるまで、 撮影開始から約 10 秒かかります。

すぐ使う 3

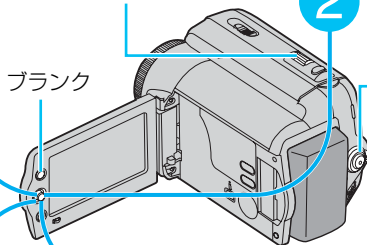
ムービーを見る

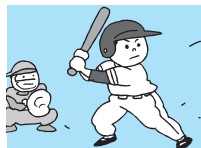
●電源スイッチ ：「再生」

1 停止の状態で、レバーを押して、操作方法を確認する

操作ガイドが表示され、約３秒後に消えます

目的		レバー操作
▶/II	再生／一時停止	レバーを▲へ
■	停止	レバーを▼へ
◀◀	巻戻し	レバーを◀へ
▶▶	早送り	レバーを▶へ

2 レバーを◀に動かす

巻戻します

3 レバーを▲に動かす

再生します

4 レバーを▼に動かす

停止します

■スピーカーの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

■再生中に早送り／巻戻しするには
再生中にレバーを ◀ ▶ に動かすと、早送り／巻戻しの速度を変更できる (可変サーチ)。

レバー操作		1 回押す	2 回押す
◀◀	レバーを ◀ へ	3 倍速巻戻し	10 倍速巻戻し
▶▶	レバーを ▶ へ	3 倍速早送り	10 倍速早送り

なお、早送り／巻戻し中は、映像にノイズがでます。

■無記録部分を探すには (ブランクサーチ)
ブランクボタンを押す。
早送りを開始し、無記録部分の約 3 秒手前で停止します。そこから録画を開始すると、約 3 秒間映像が上書きされます。必要に応じて再生し、録画開始の位置を確認してください。

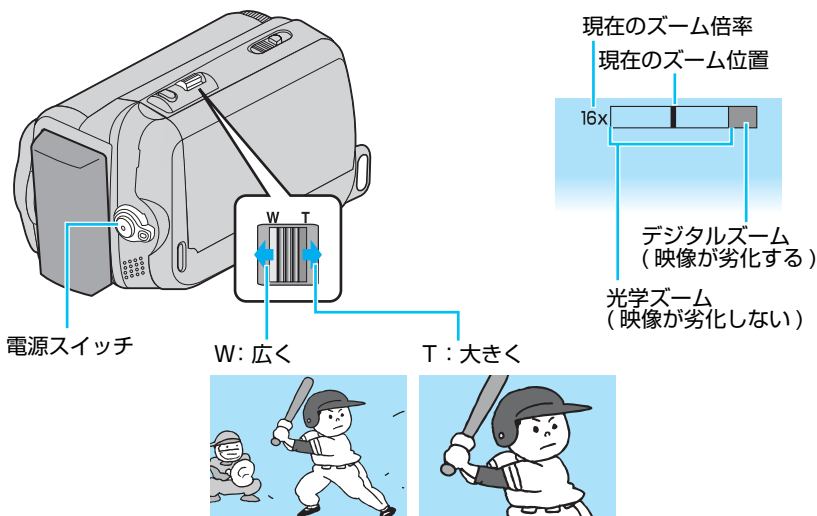
■パソコンで見るには
「パソコンに接続する」(P.44)

■再生中の映像にノイズがでたり、音声がおかしいときは
ビデオヘッドをクリーニングする (P.58)。

お知らせ ●付属の AV コードを本機に取り付けていると、スピーカーから音がでません。

すぐ使う 4 大きく／広く撮る ズーム

被写体を大きくしたり(望遠：T)、撮影する範囲を広くしたり(広角：W)、撮影中に自由に調節できます。

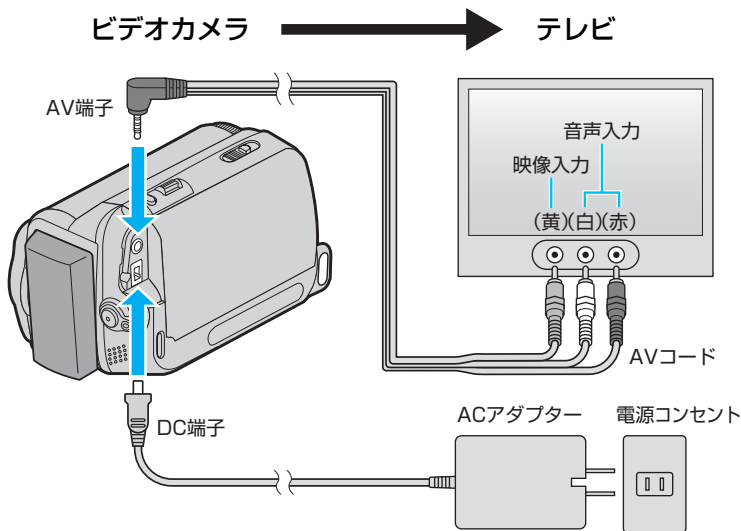
準備 ●電源スイッチ：「録画」

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できる。

■ズーム倍率の上限を変更するには
カメラメニューの「ズーム」でズーム倍率の上限を設定する (P.51)。

すぐ使う 5

テレビで見る

準 備

●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる
●テレビの画面比 (16:9 または 4:3) にあわせて、表示メニューの「ワイドテレビ」を設定する (P.53)

■再生するには
ビデオカメラで見るときと同じ操作で再生する (P.30)。

■日付などを表示するには
メニューで「画面表示切替」を設定する (P.53)。

■ダビングするには
「ダビングする」(P.40)

お知らせ
●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。
●「16:9」に設定して撮影したムービーを標準テレビ (画面比 4:3) で表示すると、画面の上下に黒い帯が表示されます。
●「4:3」に設定して撮影したムービーをワイドテレビ (画面比 16:9) で表示すると、テレビの設定によっては、画面の左右に黒い帯が表示されることがあります。

もっと撮る 1

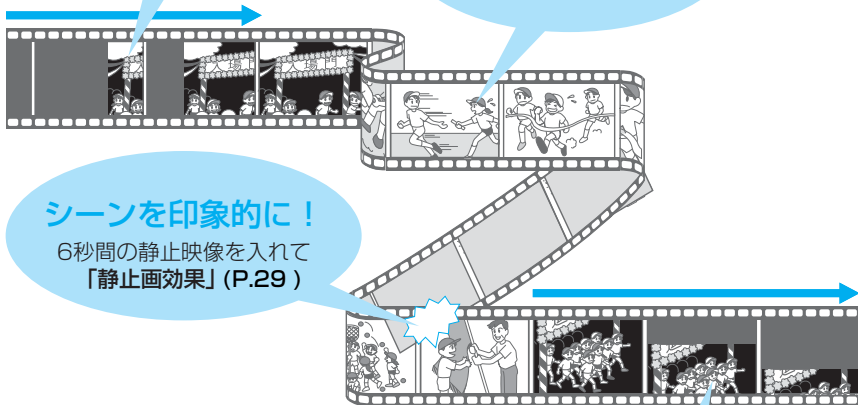
撮影効果を演出する

マニュアル撮影 (P.36) では、目的やシーンにあわせて撮影できます。効果の種類や設定方法については、「機能メニュー」(P.47) をご覧ください。

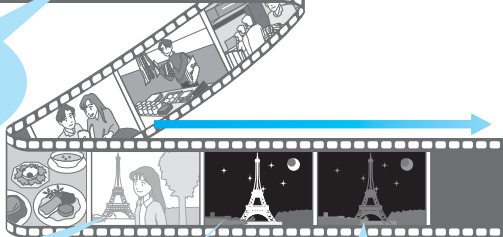
始まりにひと工夫！
ワイプインで映像が登場
「場面切替:スライド」

スポーツには！
動きは速くてもハッキリ撮れる
「プログラムAE:スポーツ」

終わりにひと工夫！
ワイプアウトで映像も退場
「場面切替:スクロール」

色々な効果を液晶画面で見るにはデモモードが便利！(P.55)

シーンの幕開けは…
フェードインで美しく演出
「場面切替：白」

スポットライト
照明の中の人物を美しく！
「プログラムAE：スポットライト」

違う場面の境目に
続けて撮っても自然につながる
「場面切替：スライド」

セピア色の思い出
古い映画の雰囲気で…
「演出効果：セピア」

シーンの幕引きに…
フェードアウトで更けてゆく夜を
「場面切替：黒」

夜景もキレイ！
自然な映像で
「プログラムAE：夜景」

もっと撮る 2

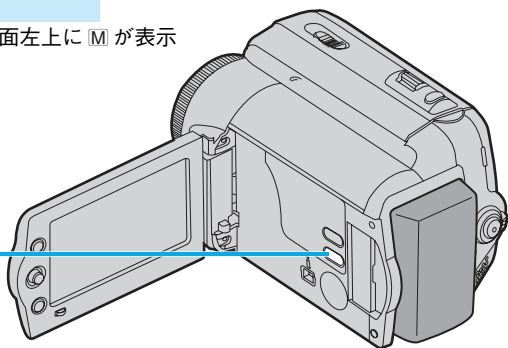
マニュアル撮影をする

ピントを手動で調節したいときや、映像に効果 (エフェクト) を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

準 備　●電源スイッチ ：「録画」

「M MANUAL」が表示されるまで、繰り返し押す

M　MANUAL

数秒後、画面左上に M が表示されます

2 調節または設定する

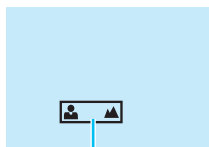
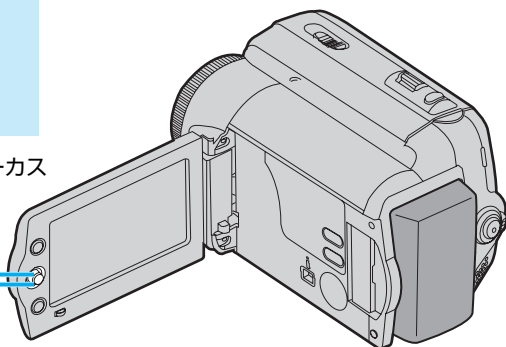
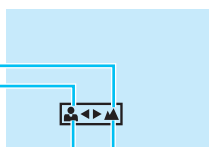
・ピントを手動であわせる (P.37)
・明るさを補正する (P.38)
・映像に変化をつける (P.47)
・その他を設定する (P.50)

3 撮影する (P.29)

お知らせ ●手順 2 の調節および設定は、オート撮影 (A) に設定する (P.27) と一時的に解除されます。しかし、マニュアル撮影 (M) に戻すと、再び同じ条件で撮影できます。

もっと撮る 3　ピントを手動であわせる（マニュアルフォーカス）

通常の自動撮影 (オートフォーカス) でピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたいときなどに行います。

準 備
●電源スイッチ　:「録画」
●AUTO ボタン : Ⓜ を表示する (P.36)

■オートフォーカスに戻すには
決定レバーを ▲(フォーカス) へ 2 回動かして表示を消す。

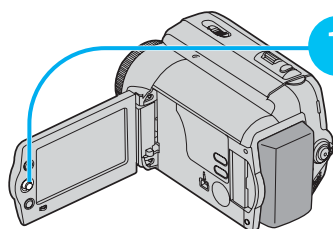
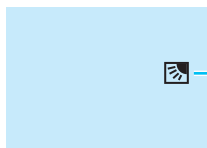
■ズームするときは
望遠 (T) 側でピントをあわせてから広角 (W) 側にズームすると、ピントがあいやすい。

もっと撮る 4

明るさを補正する

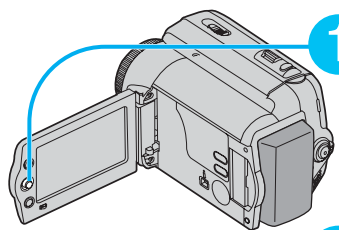
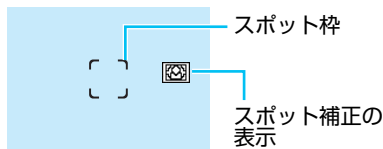
逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないようにします。

準 備
- 電源スイッチ ：「録画」
- AUTO ボタン： M を表示する (P.36)

1 [アイコン]が表示されるまで、レバーを▼へ繰り返し動かす

■通常の撮影に戻すには
[アイコン] や [アイコン] が消えるまで、決定レバーを▼([アイコン]) へ繰り返し動かす。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、被写体の一部にあわせて明るさを補正したいときなどに使います。

準 備
- 電源スイッチ ：「録画」
- AUTO ボタン： M を表示する (P.36)

1 [アイコン]が表示されるまで、レバーを▼へ繰り返し動かす

スポット枠

スポット補正の
表示

2 スポット枠に被写体をあわせ、押して決定する

■通常の撮影に戻すには
[icon]や[icon]が消えるまで、決定レバーを▼([icon])へ繰り返し動かす。

■明るさを固定するには
手順２で決定レバーを２秒以上押し続け、[icon]の隣に[L]を表示させる。

お知らせ ●機能メニューの「演出効果」を「ストロボ」に設定すると、スポット補正を使用できません (P.48)。

手動で明るさを補正する

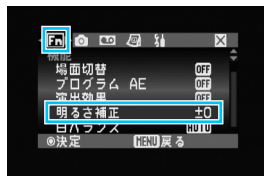
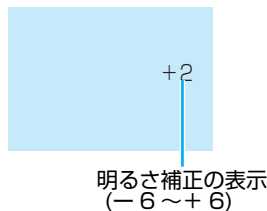
準 備 ●電源スイッチ　：「録画」
●AUTO ボタン：[M] を表示する (P.36)

機能メニューで「明るさ補正」を選び (P.47)、

押して決定する

数値を調節し、

押して決定する

押す

メニューが消えます

明るさ補正の表示
(−６〜＋６)

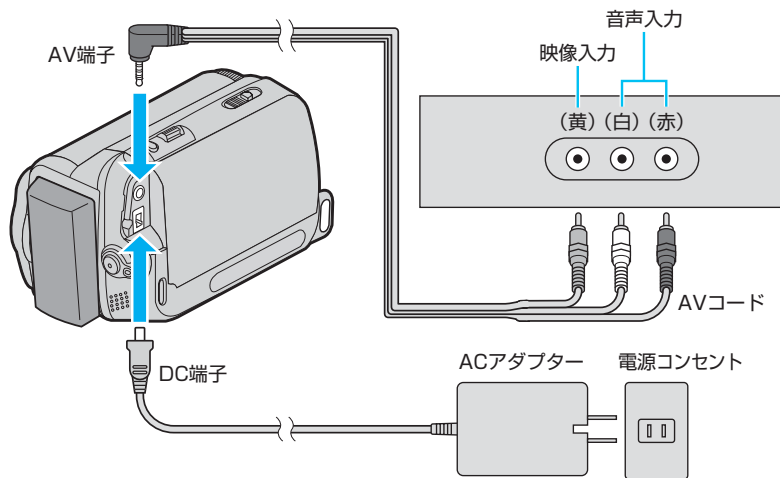
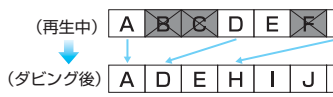
■通常の撮影に戻すには
機能メニューで「明るさ補正」を「± 0」に設定する (P.48)。

■明るさを固定するには
手順２で決定レバーを２秒以上押し続け、明るさ補正の数値の隣に[L]を表示させる。もう一度決定レバーを押して通常の画面に戻ると、明るさ補正の表示の隣に[L]が表示される。

ダビングする

ビデオカメラのテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング (複製) して保存できます。

接続する

準 備
- 電源スイッチ ：「切」
- ビデオ機器の入力設定を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる

■デジタルダビングするときは
ビデオカメラの DV 端子と、ビデオ機器の DV 入力端子を、DV ケーブル (市販) で接続する。AV コードは使いません。
デジタルダビングでは、メニュー、タイムコード、日時などの表示はダビングされません。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

ダビング（複製）する

再生側（ビデオカメラ）	録画側（ビデオ機器）
	（ビクター製ビデオデッキの場合）

「再生」にする
電源が入ります

レバーを ▲ に動かす
再生します

「録画」ボタンでダビングを始める

●飛ばしたい場面があるときは「一時停止」ボタンで止め、「再生」ボタンで録画を再開する。

「停止」ボタンでダビングを終える

レバーを ▼ に動かす
停止します

■日付などの表示を消すには

手順 1 のあと、メニューで次のように設定する (P.53)。

・画面表示切替：「切」または「モニター」
・日時表示　　：「切」
・タイムコード：「切」

お知らせ ●ビデオカメラで無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

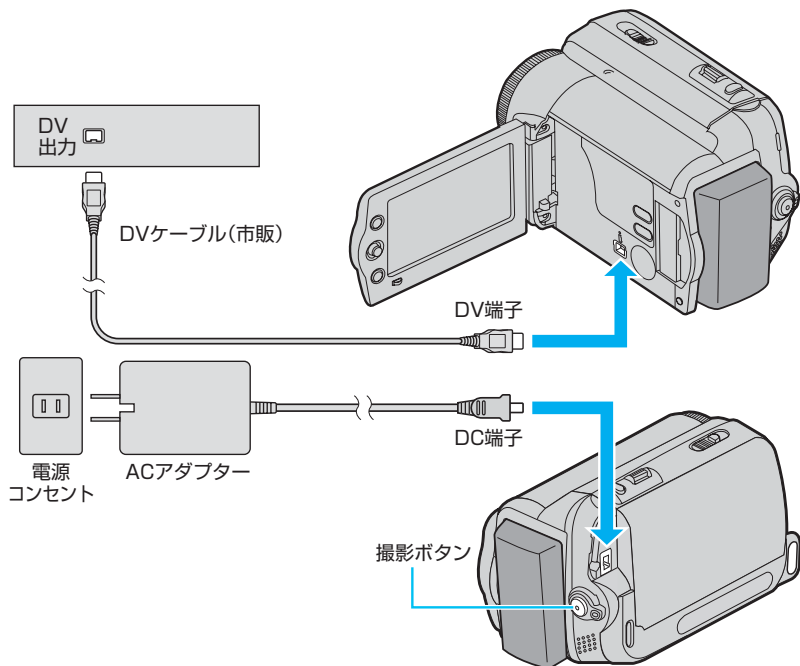
編集する 2 ビデオ機器から録画する

DV 出力端子 (i.LINK 端子) のあるビデオ機器 (デジタルビデオカメラなど) を本機のほかにお使いの場合、その映像を DV ケーブル (市販) を使って本機へ録画できます。

接続する

● 電源スイッチ ：「切」
● 本機にテープを入れる (P.22)

再生側 (ビデオ機器) → **録画側 (ビデオカメラ)**

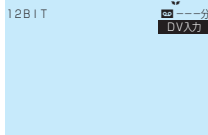
DV 出力
DVケーブル(市販)
DV端子
DC端子
電源 コンセント
ACアダプター
撮影ボタン

1 図のように接続する

「再生」にする

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。
●DV 出力端子のないビデオ機器からは、その映像を本機へ録画できません。

録画する

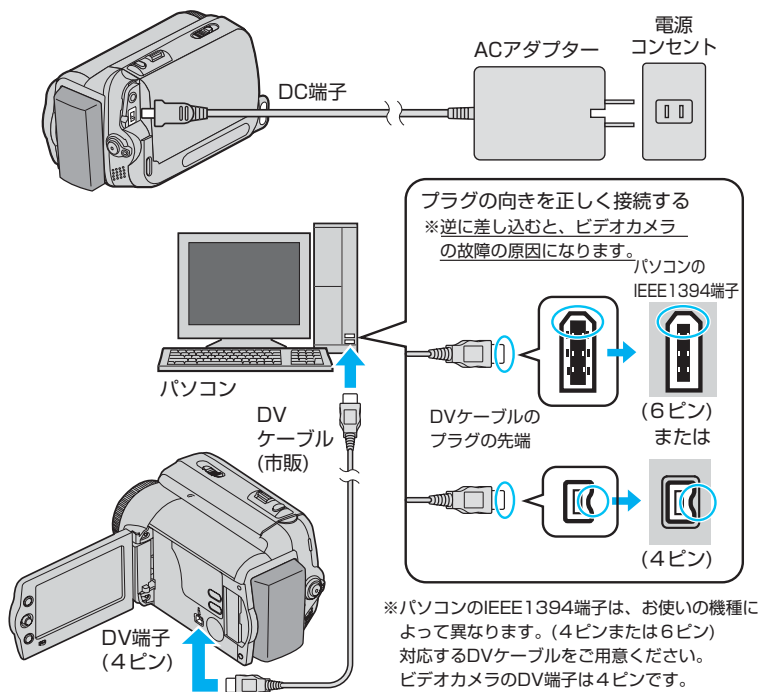
準 備 ●VTR メニューで「録画モード」を設定する (P.57)

再生側 (ビデオ機器)	録画側 (ビデオカメラ)
1 電源を入れる	2 撮影ボタンを押す 録画待機状態になります
3 再生する	4 押す 録画が始まります
6 停止する	5 押す 録画が終わります

12BIT
---分
DV入力

お知らせ ●お使いのビデオ機器などや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。

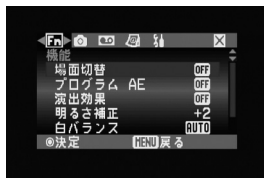
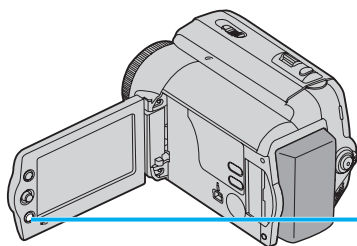
編集する 3 パソコンに接続する

IEEE1394 端子 (i.LINK 端子／ FireWire 端子) を標準装備したパソコンをお使いの場合、DV ケーブルでパソコンとビデオカメラを接続して、ムービーをパソコンに取り込むことができます。

準 備
- ●DV ケーブル (市販) を用意する
- ●市販の DV 編集ソフトウェアをインストールする
- ●電源スイッチ ：「再生」

詳しくは、ご利用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

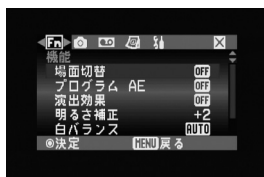
■ビデオチャットをするときは (Web カメラ)
Windows XP をお使いの場合は、Windows Messenger を使ってビデオチャットを行えます。詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

メニューを表示する

撮影の効果や色合い、光のバランスの変更、画面表示の切り替え、編集作業など、お買い上げ時の設定を変えて操作できます。

■設定せずにメニューを消すには
メニューボタンを押す。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
設定メニューの「プリセット」で「実行」を選ぶ (P.55)。

撮影のメニュー

準 備 ●電源スイッチ ：「録画」
●AUTO ボタン：M を表示する

アイコン	メニュー名	ページ
Fn	機能	P.47
	カメラ	P.50
	録画	P.50
	表示	P.52
	設定	P.54

お知らせ ●撮影中にメニューボタンを押すと、機能メニュー(P.47) が表示されます。ほかのメニューを表示するには、撮影を停止してください。

再生や編集のメニュー

準 備 ●電源スイッチ ：「再生」

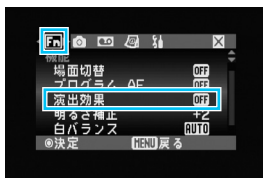
アイコン	メニュー名	ページ
	再生	P.56
	ダビング / コピー	P.56
	表示	P.52
	設定	P.54

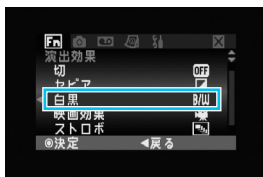
設定する 2 機能メニュー

このメニューの設定は、マニュアル撮影 (Ⓜ) のときに有効です。オート撮影 (Ⓐ) では、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

準 備 ●電源スイッチ ：「録画」
●AUTO ボタン：Ⓜ を表示する

1 メニュー **押す**
メニューが表示されます

2 **項目を選び、押して決定する**

3 **項目を選び、押して決定する**
約 1 秒後に手順 2 の画面に戻ります

■1 つまえの操作に戻るには
決定レバーを ◀ に動かす。

■設定が終わったら
メニューボタンを押して、メニューを消す。

お知らせ ●「プログラム AE」「演出効果」「シャッター」を「切」以外に設定すると、メニュー画面が約 2 秒間消えて、効果を確認できます。

メニュー項目	選択肢と役割
Fn 機能	
場面切替	●切：場面切替を使わない。 白 WH：白い画面でフェードイン、フェードアウト。 黒 BK：黒い画面でフェードイン、フェードアウト。 スライド：映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 スクロール：映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ・場面切替を設定すると、撮影開始時（イン）と終了時（アウト）の撮影ボタンを押した直後に、設定した効果があらわれます。
プログラム AE	●切：プログラム AE を使わずに撮影する。 スポーツ：動きの速い被写体を、1 コマ 1 コマ鮮明に撮影する。 スノー：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぐ。 スポットライト：スポットライトが当たって、被写体が明るく映りすぎることを防ぐ。 夜景：夜景などを自然な感じに撮影する。 ナイトアイ：薄暗いところでも明るく撮影する。 ・明るいときは表示が「A」から「」に変わり、一時的に通常の撮影に戻ります。 ・シャッター速度が遅くなるために、ブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。 ・真っ暗な場所では撮影できません。
演出効果	●切：映像に変化をつけない。 セピア：古い写真のようにセピア色になる。 白黒 B/W：白黒映画のようにモノクロになる。 映画効果：速いコマ落としで、映画のような効果をだす。 ストロボ：コマ落としで、連続写真のような効果をだす。 ミラー：画面の左側にそのままの被写体を、右側に左側を反転した被写体を撮影する。
明るさ補正	●±０：自動的に明るさを調節する。 －６～＋６：明るさを 1 刻みで調節する。決定レバーの▲▼で調節し、押して決定する。
白バランス	●オート：自動的にホワイトバランス調節する。 ワンタッチ：被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に写す。 ②「」の点滅が止まるまで、決定レバーを押し続ける。 ③もう一度、決定レバーを押す。 はれ：晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。 くもり：曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。 ハロゲン：撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。

メニュー項目	選択肢と役割
シャッター	●切　　　　　：シャッター速度を自動的に調節する。 1/60～1/4000：シャッター速度を設定して、シャッター速度による撮影効果を狙う。 ・数値を小さくする (シャッター速度を上げる) と、動きの速い被写体を 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できる。(被写体が暗くなることがあります。) ・1/100 にすると、蛍光灯のちらつきを補正できます。(50Hz 地域のみ)

●印は、お買い上げ時の設定です。

お知らせ

●「演出効果」を「ストロボ」に設定すると、スポット補正 (P.38) を使用できません。

●「プログラム AE」を「スノー」や「スポットライト」に設定すると、「明るさ補正」の設定が「± 0」になります。

●逆光補正やスポット補正を使用すると (P.38)、「明るさ補正」の設定が「± 0」になります。

設定する 3 カメラ／録画メニュー

これらのメニューの設定は、撮影時に有効です。

準備
- ●電源スイッチ ：「録画」
- ●AUTO ボタン：M を表示する

1

押す
メニューが表示されます

2 **「(カメラ)」または「(録画)」を選ぶ**

3 **項目を選び、**

押して決定する

4 **項目を選び、**

押して決定する
約 1 秒後に手順 3 の画面に戻ります

■1 つまえの操作に戻るには
決定レバーを◀ に動かす。

■設定が終わったら
メニューボタンを押して、メニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割
カメラ	
ズーム	●35 倍 ：光学ズームのみ。(画質が劣化しない) 70 倍 ：デジタルズームできる。(倍率を上げると、画質が劣化する) 200 倍 ：デジタルズームできる。(倍率を上げると、画質が劣化する)
テレマクロ	●切 ：ズームの T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入 ：ズームの T 側で約 50cm まで接近して撮影できる。
手ぶれ補正	切 ：設定しない。 ●入 ：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。 手ぶれが大きいとき。 被写体にコントラスト (明暗差) がほとんどないとき。
感度アップ	切 ：暗いときも自然のままの明るさで撮影する。 ●AGC ：暗いときは電気的に明るさを調節する。 オート A ：暗いときに AGC よりも明るく調節する。
ウィンドカット	●切 ：設定しない。 入 ：風による雑音を低減する。

メニュー項目	選択肢と役割
録画	
録画モード	●SP ：標準モード。(大切な録画に) LP LP ：長時間モード。撮影時間がSPモードの1.5倍になる。 ・LP モードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。
音声モード	●12BIT ：ほかの DV 機器でアフレコ編集できる。 16BIT ：高音質で録音する。

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 4 表示メニュー

このメニューの設定は、撮影時と再生時に有効です。

準 備
- 電源スイッチ ：「録画」または「再生」
- AUTO ボタン：Ⓜ を表示する (撮影時)

1
メニュー

押す
メニューが表示されます

2 **「(表示)」を選ぶ**

3 **項目を選び、**

押して決定する

4 **項目を選び、**

押して決定する
約 1 秒後に手順 3 の画面に戻ります

■ 1 つまえの操作に戻るには
決定レバーを◀ に動かす。

■設定が終わったら
メニューボタンを押して、メニューを消す。

メニュー項目		選択肢と役割
表示		
画面表示切替	撮影時	モニター：テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター /TV：テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。
	再生時	切：画面、テレビ、ビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター：テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 モニター /TV：テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。
		・撮影時用と再生時用に、それぞれ設定します。
日時表示	撮影時	●切：表示しない。 オート：電源を入れたときに約 7 秒間表示する。 入：常に表示する。
	再生時	●切：表示しない。 オート：再生をはじめたときと、日付が変わったときに、約 5 秒間表示する。 入：常に表示する。
		・撮影時用と再生時用に、それぞれ設定します。
タイムコード		●切：表示しない。 入：表示する。 ・撮影時用と再生時用に、それぞれ設定します。
ワイドテレビ		●入：ワイドテレビ (画面比 16:9) に接続する。 切：標準テレビ (画面比 4:3) に接続する。
モニター明るさ		－5 ～± 0 ～＋ 5 の範囲で、画面の明るさを調節する。決定レバーの▲▼で調節し、押して決定する。
LCD バックライト (撮影時のみ)		●オート：屋外では「ブライト」に、屋内では「スタンダード」に、自動的に切り替わる。 ・屋外に出ると、「LCD ▲」が約 3 秒間表示され、▲が点滅します。 ・屋内に入ると、「LCD ▼」が約 3 秒間表示され、▼が点滅します。 ・屋外と屋内で、撮影可能時間 (P.21) が変化します。 ブライト：画面を常に明るくしたいときに選ぶ。 スタンダード：バッテリーの消費を抑えたいときに選ぶ。

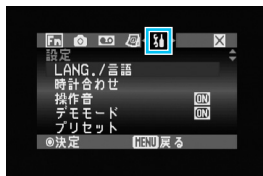
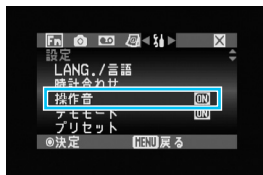
●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 5 設定メニュー

このメニューの設定は、撮影時と再生時に有効です。

準 備
●電源スイッチ ：「録画」または「再生」
●AUTO ボタン：Ⓜ を表示する (撮影時)

1 メニュー **押す**
メニューが表示されます

2 **「(設定)」を選ぶ**

3 **項目を選び、**
押して決定する

4 **項目を選び、**

押して決定する
約 1 秒後に手順 3 の画面に戻ります

■1 つまえの操作に戻るには
決定レバーを◀ に動かす。

■設定が終わったら
メニューボタンを押して、メニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割
設定	
LANG./言語	●日本語　：メニューなどを日本語で表示する。 ENGLISH：メニューなどを英語で表示する。
時計合わせ	年月日・時刻とその表示方法を設定する。
操作音	切：操作音を消す。 ●入：操作するごとに操作音を鳴らす。
デモモード（撮影時のみ）	切：設定しない。 ●入：AC アダプターを取り付け、テープを入れずに電源スイッチを「録画」にあわせると、機能の一部をデモで確認できる。 ・バッテリーではは動作しません。
プリセット	●キャンセル：設定メニューの一覧に戻る。 実行　　　：メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 6

再生／ダビング/コピーメニュー

これらのメニューの設定は、再生時に有効です。撮影時には影響しません。

準 備 ●電源スイッチ ：「再生」

1 メニュー **押す**
メニューが表示されます

2 **「▶(再生)」または「(ダビング/コピー)」を選ぶ**

3

項目を選び、

押して決定する

4 **項目を選び、**

押して決定する
約1秒後に手順3の画面に戻ります

■1つまえの操作に戻るには
決定レバーを◀に動かす。

■設定が終わったら
メニューボタンを押して、メニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割
再生	
音声切替	●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声 L　L：左の音声のみ再生する。 音声 R　R：右の音声のみ再生する。
アフレコ音声	●切　：撮影時の音声を再生する。 入　：アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。 ・本機では、アフレコ音声を記録できません。

メニュー項目	選択肢と役割
ダビング / コピー	
録画モード	●SP　：標準モード (大切な録画に)。 LP　LP：長時間モード。撮影時間がSPモードの1.5倍になる。 ・LP モードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源 (バッテリーと AC アダプター) を取りはずし、再び取り付ける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	**映像にノイズがでたり音声がおかしい** ●モザイク画 (ブロック状のノイズ) がでる。 ●黒色やモザイク画の横しまがでる。 ●音声が途切れる。 ●音や映像がでない。 ●青い画面になる。	●ビデオヘッドが汚れています。 →ミニ DV ヘッドクリーナー (別売) でクリーニングする。 →終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニ DV ヘッドクリーナー (CL-DVCA) 別売 ※ヘッドが磨耗するので、長時間繰り返しクリーニングしないでください。 ※詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■**撮影に失敗しないためには** 撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。 ●撮影するまえに試し撮りをする。撮影した部分を再生して、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください。 ●ヘッドクリーナーを持ち歩く。 ●1 ヶ月に 1 回は本機を使用する。 ●約 1000 時間の使用を目安に、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ定期点検に出す。	—
	巻戻しや早送りできない	●電源スイッチを「再生」にあわせる。	P.26

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	映像が乱れる	●テープの無記録部分では映像が乱れることがあります。故障ではありません。	–
再生中	テレビで再生されない	●テレビの入力切換でビデオ用に設定する。	P.33
再生中	テレビに縦長の画像が映る	●表示メニューの「ワイドテレビ」を「切」に設定する。	P.53
再生中	テレビに表示される画像が小さい	●表示メニューの「ワイドテレビ」を「入」に設定する。	P.53
再生中	音が出ない	●ズームレバーを動かし、スピーカーの音量を調節する。 ●AV コードを本機から取りはずす。	P.31
電源	電源が入らない	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開く。 ●電源スイッチをいったん「切」にあわせてから、電源を入れ直す。	P.20 P.21 P.26
撮影中	映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	–

撮影中 こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影できない	●テープの誤消去防止用つまみを「REC」にあわせる。 ●「テープ終り」と表示されていたら、テープを交換する。 ●カセットカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「録画」にあわせる。	P.22 P.26
自動でピントがあわない	●電源スイッチを「録画」にあわせる。 ●画面に M が表示されているときは、オートフォーカスにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスに設定して調節する。 ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。	P.13 P.26 P.37
被写体が暗い	●逆光補正またはスポット補正を使う。 ●機能メニューの「プログラム AE」を「ナイトアイ」に設定する。	P.38 P.48
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●機能メニューの「プログラム AE」を「スポットライト」に設定する。 ●機能メニューの「明るさ補正」を「−」側に設定する。	P.38 P.48
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、機能メニューの「白バランス」を「ワンタッチ」に設定する。	P.48
日時表示がでない	●表示メニューの「日時表示」を「入」に設定する。	P.53
デジタルズームできない	●カメラメニューの「ズーム」を「70倍」または「200 倍」に設定する。	P.51
プログラム AE・場面切替が使えない	●AUTO ボタンを押して、M を表示する。	P.36

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	白バランスが設定できない	●機能メニューの「演出効果」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.48
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.53
液晶画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
液晶画面	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。	–
その他	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）	P.65
その他	テープが入らない	●バッテリー残量を確認し、不足しているときは AC アダプターを接続する。 ●テープの向きを確認する。	P.21 P.22
その他	DV ケーブル接続時、操作できない	●電源を切り、接続しなおしてから操作する。	–

■次の場合、故障ではありません

・ 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
・ 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
（画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることがあります。）

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずし、再び取り付ける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

表示

露が付きました

しばらく
お待ち下さい

(交互に表示され、
動作が停止)

ここを確かめてください

- テープを出し入れせずに 1 時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。
  ※消えない場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■つゆつきとは
冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。

■こんなときに起こりやすい
- 湿気の多いとき。
- 部屋を暖房した直後。
- 寒いところから暖かいところに急に移動したとき(エアコンなどの冷風が直接当たるところから暑い屋外への移動など)。

■つゆつきを防ぐには
- 温度や湿度の違うところに移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。

お知らせ
- メッセージの表示まえでもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- 寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	01、02、06	●バッテリーと AC アダプターを取りはずして付け直し、表示が消えてから使う。	P.19 P.20
全般	03、04	●テープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	P.22

■01 ～ 06 について

動作させて同じ表示がでなければ問題ありません。

2、3 回繰り返しても表示が消えないときは、テープは取り出さず、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再び表示されたら、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。	P.23
全般	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニ DV ヘッドクリーナー (別売) でクリーニングする。	P.58
全般	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.18
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。	–
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	–
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻戻す。	–
テープ	HDV [テープアイコン]	●HDV 規格で記録した映像です。本機では再生できません。 ●テープを交換するか、早送り／巻戻しで再生できる部分を探す。 ●不要な映像の場合は、上書きする。	–

仕様

一般

電源	AC アダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　　DC 7.2V
消費電力	2.4W(LCD バックライト「スタンダード」時)
外形寸法	68mm × 74mm × 118mm (幅×高さ×奥行き)
質量	本体　　約 420g 撮影時　約 485g （バッテリー BN-VF808、60 分テープ、レンズキャップを含む)
動作環境	許容動作温度　0 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度　35%～ 80% 許容保存温度　-20 ℃～ 50 ℃

カメラ部・液晶部

映像素子	1/6 型 68 万画素 CCD 撮像エリア：34 万画素
レンズ	F1.8 ～ F4.0、f = 2.2mm ～ 77mm (35mm カメラ換算　4:3 モード　41mm ～ 1435mm 16:9 モード　36mm ～ 1260mm)
フィルター径	30.5mm (ネジピッチ 0.5mm)
最低照度	12 ルクス (シャッタースピード：1/60) ナイトアイ時：約 1 ルクス (シャッタースピード：1/2)
液晶画面	2.7 型ワイド、12.3 万画素、ポリシリコンカラー液晶
ズーム	光学ズーム：35 倍まで、デジタルズーム：200 倍まで

時計用電池

種類	一次電池 (内蔵)

端子部

DV 端子	4 ピン (i.LINK/IEEE1394 準拠)
AV 端子	映像端子 アナログ出力 (1.0V(p-p)、75Ω) 音声端子 ステレオ・アナログ出力 (300mV(rms)、1kΩ)

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式 (SD 仕様) 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCM デジタル記録、32kHz 4 チャンネル (12BIT)、 48kHz 2 チャンネル (16BIT)、44.1kHz(再生のみ)
信号規格	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニ DV カセット
録画／再生時間	SP モード：80 分、LP モード：120 分 (80 分テープ使用時)
早送り／巻戻し	約 3 分 (60 分テープ使用時)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V－240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

バッテリー BN-VF808

電圧	DC 7.2V
容量	730mAh
外形寸法	52mm × 18mm × 31mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 48g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VF808(付属)	1 時間 30 分
BN-VF815(別売)	2 時間 40 分
BN-VF823(別売)	3 時間 50 分

※室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。表の数字は目安です。

■撮影時間の目安

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 （最大撮影時間）
BN-VF808（付属）	1 時間	2 時間
BN-VF815（別売）	2 時間 5 分	4 時間 5 分
BN-VF823（別売）	3 時間 5 分	6 時間 10 分
VU-V840KIT（別売）	5 時間 35 分	11 時間 10 分
VU-V856KIT（別売）	8 時間	15 時間 55 分

※LCD バックライト「スタンダード」時の目安です。
※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。
※撮影条件により、撮影可能時間は変化します。表の数字は目安です。

お知らせ
- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください (P.19)。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  - ・お問い合わせ：有限責任中間法人　JBRC
    http://www.jbrc.net/hp/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

他社製品の登録商標と商標について

- i.LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。i は i.LINK に準拠した商品につけられるロゴマークです。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

保証とアフターサービス

保証書 別添付

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検	●長年お使いのカメラの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合 持込修理

「故障かなと思ったら…」(P.58) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・DV カセットテープなどの万が一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルビデオカメラ
型　名	GR-D851
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　)　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

さくいん

商品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.69 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M8D5 non-DSC　1007MKH-HT-VM